

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019年19週（5月2週 5/6～5/12）

2019年4月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

咽頭結膜熱、伝染性紅斑、後天性免疫不全症候群、麻しん・風しん

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、RSウイルス感染症、水痘、伝染性紅斑等

◇全数把握感染症発生状況（）内は件数。

結核(24)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(3)、侵襲性肺炎球菌感染症(13)、梅毒(4)、播種性クリプトコックス症(1)、百日咳(15)、風しん(2)、麻しん(1)

◇2019年4月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆咽頭結膜熱（図1）

19週の定点当たり報告数は0.43、18週39人→19週79人(2.03倍)です。

◆伝染性紅斑

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。19週の定点当たり報告数は0.40、18週14人→19週73人(5.21倍)です。

◆後天性免疫不全症候群（図2）

2019年19週（診断週）までの累積報告数(5月15日現在)は29件(男28件、女1件)です。2018年19週までの累積報告数は36件(男34件、女2件)、2018年総報告数は97件(男92件、女5件)でした。全国の2019年18週までの累積報告数は379件です(2018年総報告数は1,292件)。

6月1日から6月7日は「HIV検査普及週間」です。今年度も休日エイズ即日検査が実施されます。

【参考ページ】

令和元年度「HIV検査普及週間」について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000082980.html>

アイチエイズインフォメーション(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/index.html>

◆麻しん・風しん（5月15日現在、診断日集計）

愛知県の2019年麻しんの累積報告数は36件（うち1月14件、2月11件、3月5件、4月5件、5月1件）です。愛知県の2018年麻しんの総報告数は37件、2017年総報告数は1件でした。全国の2019年18週（診断週）までの累積報告数は467件、2018年の総報告数は282件です（2017年総報告数は186件）。

愛知県の2019年風しんの累積報告数は37件（うち1月4件、2月11件、3月13件、4月7件、5月2件）です。愛知県の2018年風しんの総報告数は119件、2017年総報告数は3件でした。全国の2019年18週（診断週）までの累積報告数は1,434件、2018年総報告数は2,917件です（2017年総報告数は91件）。

【参考ページ】

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/pressrelease-measles190419.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2019) http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html

疾患別ウイルス検出状況 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

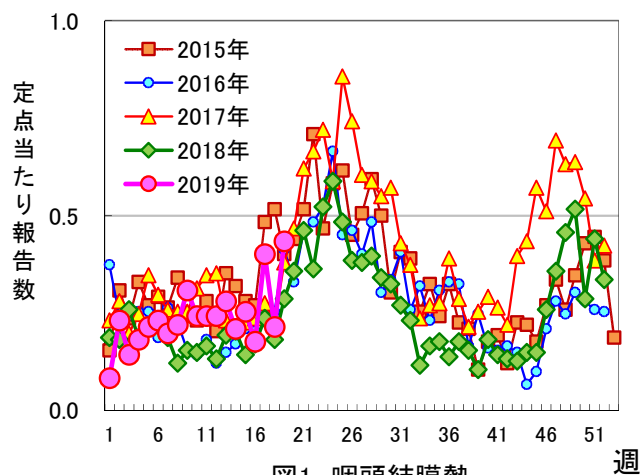


図1 咽頭結膜熱

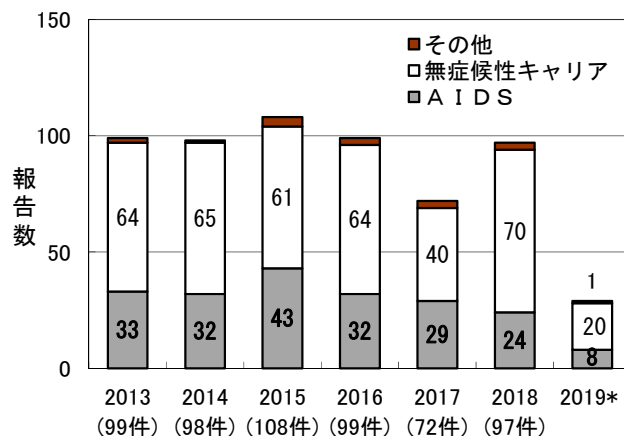


図2 後天性免疫不全症候群の年別・病型別報告数 (愛知県、診断週集計 *2019年は2019年5月15日現在)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 8歳男 サルモネラO9群検出
インフルエンザはB型 1例
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 2歳男 hMPV
【一宮市 後藤小児科医院】
- 便ロタウイルス 4例
【一宮市 ささい小児科】
- ヒトメタニューモ 3歳女
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- ロタウイルス感染症
伝染性紅斑目立ちます。
インフルエンザ 2名（A型、B型 各1名）
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 水痘散発
伝染性紅斑増えてきました。
RSも増加中
ヒトメタニューモ 1例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- ウイルス性腸炎多かったです。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 14歳男 病原大腸菌O1検出
72歳男 病原大腸菌O1検出
19歳男 インフルエンザB
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 0名
インフルエンザB型 3名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- インフルエンザB型 1名
【あま市 医療法人村上医院】

尾張東部地区

- インフルエンザA型 5名
3名は家族内感染（韓国旅行あり、帰国後発症）
その他目立った感染症なし
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 1名
インフルエンザB型 3名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告 2名（成人 2名、A型 1名、B型 1名）
ロタとRSVははやっています。
【春日井市 春日井市民病院】
- RSウイルス 2例
B型インフル 2例
溶連菌 18例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- ロタウイルス胃腸炎が目立ちます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザB型 3名
水痘 1名
感染性胃腸炎 散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 2歳男 ヒトメタニューモ
6歳男 ロタウイルス
伝染性紅斑 3名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザB型 2名
ヒトメタニューモウイルス感染症 2名（1歳）
アデノウイルス感染症 2名（1歳、2歳）
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザB型 8名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- StrepA(+) 1歳男 4歳女 5歳女 6歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA型 1人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザ陽性 A型 2名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- 便ロタウイルス 4歳女
ヒトメタニューモウイルス 9か月女 2歳男 2歳女
ヒトメタニューモウイルス 3例とやや目立っていました。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- アデノ(+) 2歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 感染性胃腸炎が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- FluB+ 9歳女
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 3名
インフルエンザB型 1名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- インフルエンザ A型 0名 B型 1名
【西尾市 西尾市民病院】
- 水痘が少し目立ちました。
【西尾市 山岸クリニック】
- マイコプラズマ肺炎 11歳男
カンピロバクター 3歳女
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

- インフルエンザB型 1名
【豊橋市 豊橋市民病院】
- インフルエンザB型 3名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- インフルエンザA 0名
インフルエンザB 1名
【豊川市 豊川市民病院】
- アデノウイルス 8名
インフルエンザA 2名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年5月15日現在

ー ～ 三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準

● 結核（二類感染症）<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun190401.pdf>

報告保健所	2019年19週報告数			2019年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	10	2	1	199	44	59
豊田市				19		8
豊橋市	1	1		25	4	13
岡崎市	1			8	2	2
一宮	1		1	27	5	9
瀬戸	4		4	49	13	20
半田				14	6	3
春日井	1		1	36	8	14
豊川	1	1		12	2	
津島	1			35	6	7
西尾				7		2
江南				19	2	7
新城						
知多	3	1	1	19	2	9
清須	1	1		14	7	2
衣浦東部				27	6	4
合計	24	6	8	510	107	159

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	7歳	男	5/5	5/7	5/10	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	52歳	女	デング熱	インドネシア

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	71歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	90歳	男	肺炎型	国内
3	瀬戸	66歳	男	肺炎型	国内、フィリピン

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	72歳	女	腸管アメーバ症	不明	不明
2	豊田市	57歳	男	腸管アメーバ症	不明	オーストラリア

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	77歳	女	以前からの保菌	国内	無
2	名古屋市	62歳	女	以前からの保菌	国内	無
3	豊田市	83歳	男	以前からの保菌	国内	無
4	豊川	94歳	女	不明	国内	無

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊橋市	65歳	男	不明	国内
2	豊橋市	0歳	男	有	不明
3	衣浦東部	82歳	男	無	不明

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	81歳	男	不明	国内
2	名古屋市	81歳	男	不明	国内
3	名古屋市	36歳	男	不明	国内
4	名古屋市	69歳	男	有	国内
5	名古屋市	40歳	男	無	国内
6	豊橋市	3歳	女	有	国内
7	岡崎市	5歳	男	有	国内
8	岡崎市	71歳	男	有	国内
9	瀬戸	72歳	男	有	国内
10	瀬戸	33歳	男	無	不明
11	瀬戸	59歳	女	無	不明
12	半田	60歳	男	無	国内
13	津島	65歳	女	有	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	42歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	半田	48歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	春日井	42歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	津島	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染原因・感染経路	感染地域
1	名古屋市	62歳	男	不明	不明

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	7歳	女	不明	国内
2	名古屋市	8歳	男	有（3回）	国内
3	名古屋市	8歳	女	不明	国内
4	名古屋市	1歳	女	不明	国内
5	名古屋市	6歳	男	有（追加接種有）	国内
6	名古屋市	12歳	男	有（追加接種有）	国内
7	豊橋市	5歳	男	無	家族内感染
8	一宮	12歳	女	有（追加接種有）	国内
9	瀬戸	8歳	女	有（追加接種有）	国内
10	瀬戸	9歳	男	有（追加接種有）	国内
11	春日井	2歳	女	有（追加接種有）	不明
12	江南	12歳	女	有（3回）	国内
13	江南	1歳	男	有（3回）	家族内感染
14	知多	12歳	男	有（追加接種有）	国内
15	衣浦東部	0歳	女	有（1回）	家族内感染

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	20歳	女	有	国内
2	豊田市	51歳	男	不明	アメリカ合衆国

● 麻疹（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	衣浦東部	31歳	女	有	国内

2019年4月報

(2019年5月14日現在、診断週に基づく集計)

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2018～2019年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2019年4月			2019年 累計 ＜愛知県全体＞	2018年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	69 (22)	39 (8)	108 (30)	477 (146)	1,556 (419)
三類 (5)	コレラ	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	2 (0)	3 (0)	20 (4)	154 (46)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	2	6
	A型肝炎	0	0	0	5	35
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	1	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	2
	デング熱	2	0	2	9	22
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	2
	類鼻疽	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	6	2	8	34	162
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1
五類 (24)	アメーバ赤痢	6	0	6	19	45
	ウイルス性肝炎	0	0	0	3	7
	内訳	B型	0	0	3	6
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	4	7	11	38	156
	急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	0	1	1	1	11
	急性脳炎	6	1	7	31	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	17	44
	後天性免疫不全症候群	2	5	7	29	97
	内訳	無症候性キャリア	2	4	6	20
		AIDS	0	1	1	8
		その他	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	4	17	33
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3	0	3	4	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	14	8	22	86	212
	水痘 (入院例に限る。)	2	0	2	7	28
	梅毒	11	16	27	111	454
	内訳	無症候	0	7	7	35
		早期顕症	10	9	19	73
		晩期顕症	1	0	1	3
		先天梅毒	0	0	0	0
	播種性クリプトкокクス症	1	1	2	6	17
	破傷風	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2
	百日咳*	26	15	41	184	432
	風しん	6	0	6	35	119
	麻しん	5	0	5	35	37
総 計		166	100	266	1,176	3,701

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症（全数把握）に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2019年4月			2019年 累計	2018年 総計
			愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	19	60	79	290	894
		女	25	19	44	205	681
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	6	12	18	78	242
		女	12	11	23	89	336
	尖圭コンジローマ	男	7	13	20	83	217
		女	4	1	5	18	105
	淋菌感染症	男	20	40	60	184	552
		女	4	4	8	28	78
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		71	4	75	334	984
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		7	2	9	34	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	2

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2019年4月			2019年 累計	2018年 総計
	愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	3

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

愛知県感染症情報

2019年19週(2019年5月6日～2019年5月12日)

愛知県衛生研究所

	定点数						インフルエンザ 定点	小児科定点									眼科定点		基幹定点							疑似症 定点
愛知県 (保健所別)	インフル エンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	疑似 症	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感 染症を除く。)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性 胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る。)	インフル エンザに よる入院 患者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	15	44	193	45	79	232	806	42	23	73	51	4	10	0	18	0	0	2	0	19	0	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	28	137	39	52	180	623	37	19	66	43	3	6	0	14	0	0	2	0	14	0	0
名古屋	70	70	11	15	3	16	56	6	27	52	183	5	4	7	8	1	4		4					5		
瀬戸	9	9	2	3	1	3	17	4	2	11	36			3	4		1							2		
津島	7	7	2	2	1	2	6		13	9	58	1	1	2	5		1		2					2		
清須	4	4	1	1			4			4	7				1				3							
一宮	16	12	3	4	1	2	9	6	6	14	50	1	6	6	4		1							4		
春日井	9	9	2	3	1	3	14	5	6	26	45	3		10	2							2		4		
江南	6	6	1	2		2	5	2		14	40	5		7	5		1									
半田	6	6	1	2	1	1	9	3		6	57	3		13	2		1							1		
知多	7	7	2	2		3	14		2	11	36			5	2											
岡崎市	11	7	2	4	1	2	6	3	8	23	47	3	3	4	4	1										
衣浦東部	13	13	2	4	1	3	21	3	4	26	51	4	2	5	4		1		1							
西尾	5	5	1	2	1		4	2	1	6	26	8			2	2										
豊田市	9	9	2	4	1	4	15	1	3	10	58	4	4	4	2				1							
豊橋市	12	8	2	4	1	2	6	3	1	5	66	2	2	2	2				2							
豊川	9	8	1	2	1	1	6	7	5	13	46	3	1	5	4				5					1		
新城	2	2			1		1		1	2																

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

愛知県感染症情報

2019年19週(2019年5月6日～2019年5月12日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点						疑似症 定点
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフル エンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る。)	インフルエンザによる入院患者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症
計	137	39	52	180	623	37	19	66	43	3	6	0	14	0	0	2	0	14	0	0
～6ヶ月		14			6															
～12ヶ月		11	4	2	32			1	10				1							
0歳																		1		
1歳	5	11	11	4	69		9	3	24	2								2		
2歳	7	1	8	12	58	1	1	7	7	1	1							1		
3歳	6		2	24	62	7	3	8	2									1		
4歳	2		5	19	52	1	1	7												
5歳	9	2	9	26	68	1	1	13			2									
6歳	7		5	22	44	7		9												
7歳	6		2	17	31	11	2	5												
8歳	6		2	13	36	3		5			1									
9歳	6			5	24	2	1	4												
5歳～9歳																1		9		
10歳～14歳	20		3	20	55	3	1	3			1		3			1				
15歳～19歳	12			1	18								1							
20歳～			1	15	68	1		1			1									
20歳～29歳	24												1							
30歳～39歳	11												4							
40歳～49歳	7												1							
50歳～59歳	4																			
60歳～69歳	3												2							
70歳～													1							
70歳～79歳	2																			
80歳以上																				

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律